

既成市街地の整備 が進んでいます

明日へと響け 復興のつち音

このコーナーでは、石巻の復興や復旧の様子を紹介します



中央一丁目地区 被災市街地復興土地区画整理事業

中央一大通り(旧市役所大通り)を中心とする中央一丁目地区は、東日本大震災により甚大な津波被害を受けました。街なか居住の再生や商店街の街並みを取り戻すため、被災市街地復興土地区画整理事業による整備を行いました。

街並み委員会

中央一丁目地区では、地域が中心となって勉強会(街並み委員会)を重ね、大学の先生や街づくり会社、行政が一体となってまちづくりを進めてきました。

勉強会は、平成25年から計23回開催し、まちづくりに取り組んできました。



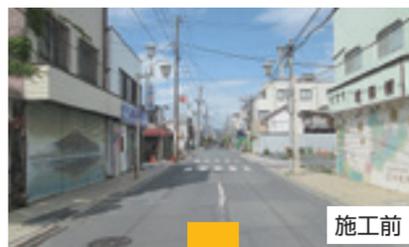
▲勉強会の様子

「やさしいみち」の実現に向けて

災害にも強くしなやかで、誰もが安心して使える、温かみと気軽さ、活気のにじみだすみち。



▲バリアフリーに配慮して車道と歩道の段差を無くし、また、ライトブラウンの平板ブロックを敷設することでぬくもりを持たせました。



施工前



施工後

道路の拡幅

整備前は歩道を含めて幅員10mでしたが、整備後は17mに拡幅。車道10m、その両側に各3.5mの歩道を設置しました。

災害発生時には、日和山への避難道としての利用が期待されます。



▲みんなでつくるコミュニティマップ
マップには、気になる場所やお気に入りの場所、知りたいこと、困っていること等が書かれた付箋がたくさん貼られました。

▶新しい街並みの完成を祝い、多くの方々が集まりました。



▶餅つき大会や芋煮の振る舞い、子ども商店街等、住民同士の交流イベントも行われにぎわいました。



▲テープカットには、石巻のご当地ヒーロー「シージェッター海斗」も参加。



▲石巻小学校鼓笛隊によるパレードや、同校の伝統歌「だるまの歌」の合唱も行われました。

「まちびらき」を行いました。
道路の拡幅工事が完了したことを記念し、10月22日(土)に

中央一まちびらき